

場所 アスンシオン日本人学校  
(Zoom ミーティングルーム)  
指導者 道藤 祐司

1 単元名 国の領域・・・国境線、国が成り立つ条件

2 本時の学習

(1) ねらい 国が成り立つ条件を考え文章にすることを切り口に領土、国境について理解を深める

(2) 展開

時間	学習活動	主な働きかけと予想される反応	○留意点 ★評価
0	1. 「くに」の文字を漢字で書いてみる。	○「国」を漢字で書き、この文字の意味について考えてみる	○漢字にはそれぞれの文字に意味があることにふれる。
何があれば「国」といえるのだろうか？			
5	2. 「国」の条件について自分の考えを文章にして整理する。	○例をあげてこの発問の意味を理解できるよう提示する。	○自分の言葉でていねいに説明するよう促す。 ★自分の考えをていねいな言葉で発表している。
20	3. パラグアイのまわりの「国」から国境について考える。	○白地図にパラグアイと国境を接する国の国名を記入させる。 地図から国境の基準について考える。	○まわりの自然条件などを手がかりに国境の基準を考える。
30	4. 国境で囲まれた中にある土地を何というか考え、「国」の条件に戻して考えてみる。	○領土以外の国が支配する領域について考える。 領土、領空、領海 排他的経済水域	○プリントの図への記入、
40	5. パラグアイに当てはまることを考える	○パラグアイには「領海」「排他的経済水域」がないことで良いこと、困ることはあるかを考えさせる	○内陸国の特徴、自国の特色理解を深める。 ★自分の国に目を向け関心をもつ。
パラグアイに重ねて考える			